

東京大学 + 日本大学

清水プロジェクト 2011年度活動報告

1 清水港の第一印象



1 清水の第一印象





高九百廿八石餘
駿州鹿原郡
江尻宿
宿中宿三葉上町

2-1
清水港の歴史

2 清水港の歴史と歴史資源 道路・街区の成り立ち

1

2

清水港の歴史と歴史的資源

3

4

5

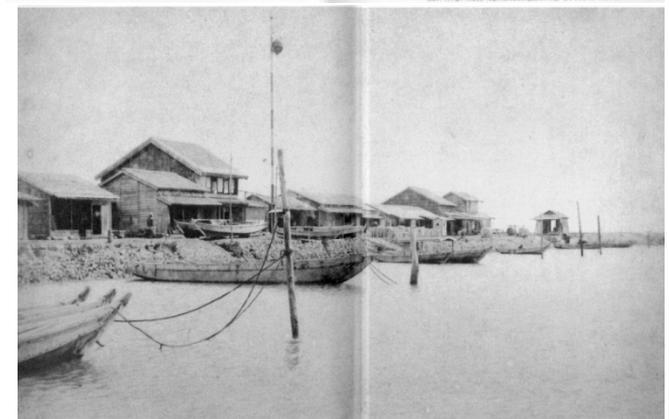
6



■ 江戸時代～明治時代

- 東海道宿場町の江尻に対して、巴川河口の清水川湊は海上交通の要衝
- 現日の出地区周辺は向島と呼ばれる寄洲で人はほとんど住んでいない
- 物流の要衝としてだけでなく、漁港としても繁栄した
- 廻船問屋ら有志で設立された「波止場会社」が最初の波止場を造成
- 他港では内務省直轄の港湾修築が進む中、近代港としての生き残りのために自主的な活動

波止場(旧舟溜り)は修築の歴史を伝える重要な場所



■ 戦前・戦後～現在

- 修築が進む日の出埠頭（右）
- 貨客船が直接接岸可能な岸壁の整備

茶・缶詰などの輸出による急速な発展
静岡などの後背地の産業活動
貝島など三保地域の工業化

- 海外貿易再開請願→いち早く海外貿易に復帰
- オートバイなどの輸出

缶詰輸入(打検師活躍)など、かつてのノウハウを活かした輸入→次第に輸入港へ

- 60年代～コンテナ輸送→袖師・興津の整備
- 自動車輸送が拡大、臨港鉄道廃止

第二東名高速道路の開通と共に、興津地域の機能強化急務
港湾間の国際競争激化





2-2 歴史的資源の現況

日の出地区とその周辺の歴史的資源

1

2

清水港の歴史と歴史的資源

3

4

5

6



1

2

清水港の歴史と歴史的資源

■ 旧鈴与倉庫群

- 切妻倉庫群は、日の出埠頭造成中から建設が開始される
- 戦災で焼け残った倉庫
- ……1931~1939年竣工
- 戦前は砂糖(台湾産)の保税倉庫として使用されていた

戦前の石造り港湾倉庫群が大規模に現存している場所は非常に貴重



3

■ 清水港線跡

- 清水港発展を支えた臨港線跡
- 臨港鉄道跡のリニアな空間は低利用が目立つ
- 路地のような魅力がある



4

5

6

■ 築地町

- 工場用地として広幅員道路・大街区で整備
- 日の出地区の倉庫群と類似した様式の倉庫が複数点在している例) 天野回漕店倉庫 (No.14) 1942年建設 (築地町最古の倉庫)



■ 旧船溜り・次郎長堤

- 旧船溜り・・・「波止場」
- 近代港としての清水港発祥の地
- 港の中心が日の出に移って以降はバーが立ちならぶ
- かつての賑わいの中心
- 北側に埠頭の岸壁「次郎長堤」が残っているが、保存状態は悪い



■ 土木遺産的価値

日の出埠頭・広幅員道路・大きな街区割・近代的倉庫群・上屋群・清水港線

- 近代港湾としての骨格
- それに伴う施設群
- 同時期の土木・建築遺産が群として存続＝産業遺産群と言える

■ 資源の活用・保全

- 近代化遺産
- 産業遺産
- 近代化産業遺産

■ 産業観光のアイデア

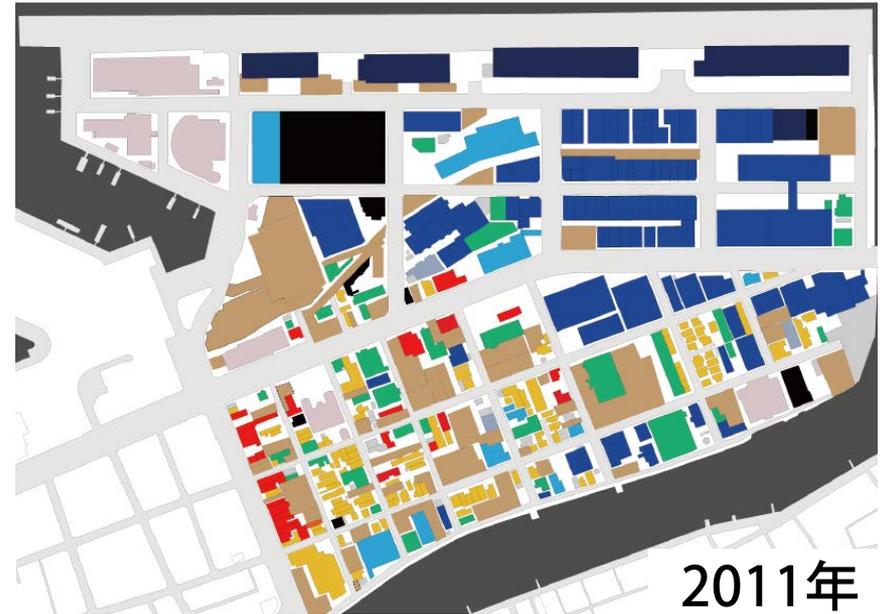
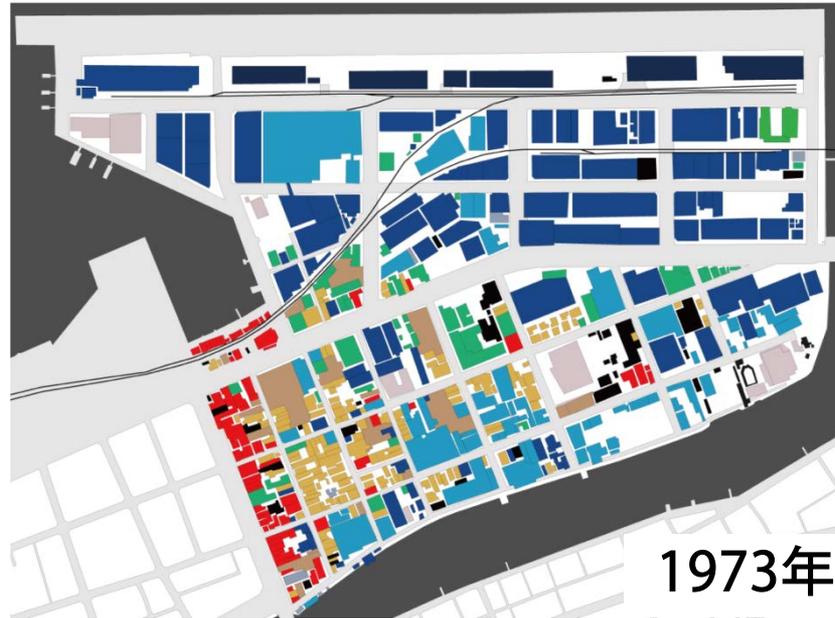
- 工場見学
- 加工体験
- 直産物試食など





3 日の出地区および
その周辺の現況と課題

3 日の出地区の現況と課題 土地利用の現況と変遷



■ 倉庫 ■ 上屋 ■ 工場 ■ 事務所 ■ 商業地 ■ 公共施設 ■ 駐車場 ■ 住宅 ■ 空地

■ 1973年から2011年の変化

- 倉庫の集約化、大規模化
- 駐車場急増と大規模化
- 公共施設増加
- 住宅密度の低下、マンション増加
- 波止場通り沿いの商業減少

1

2

3

日の出地区の現況と課題

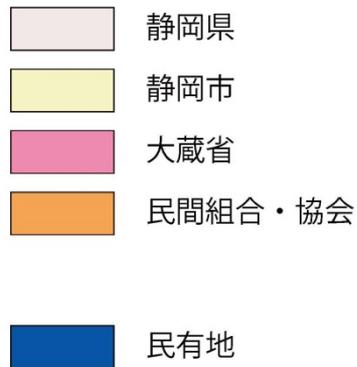
4

5

6

■ 公有地・民有地の色分け

- 地権者の異なる土地が混在している
- 土地所有者間の連携・日の出地区将来像の共有が重要



- 日の出地区の倉庫は賃料を安く設定でき、長期保管などに向いている
- コンテナに対応できない種類の荷物を保管している
- 東日本大震災の影響で、短期的には清水港の倉庫需要は大きい
- 日の出地区の倉庫は老朽化しているが、新築の倉庫に建て替えるほどではなく、小規模な改修にとどめて利用している

倉庫以外の用途への土地利用転換も考えられるが、本業である物流業と清水港の港勢拡大が大切。



日の出地区全体の水辺のアクセシビリティ

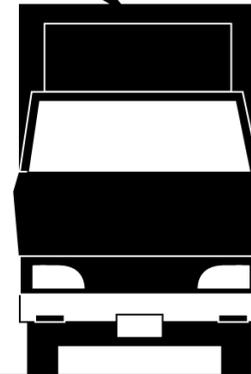
- 1
- 2
- 3 日の出地区の現況と課題
- 4
- 5
- 6



3 日の出地区の現況と課題 物流動線と歩行者動線の交錯



- 港湾地区のため、道路幅員は広く、歩道がない
- 平日はトラック・フォークリフトが行き交う
- マリンロードから日の出地区に入る街路でも歩行者とトラックが交錯する



3 日の出地区の現況と課題
広域の日の出を活かすための資源・連携・可能性

■ 次郎長生家



■ 三保の松原



■ 久能山東照宮



■ 魚市場

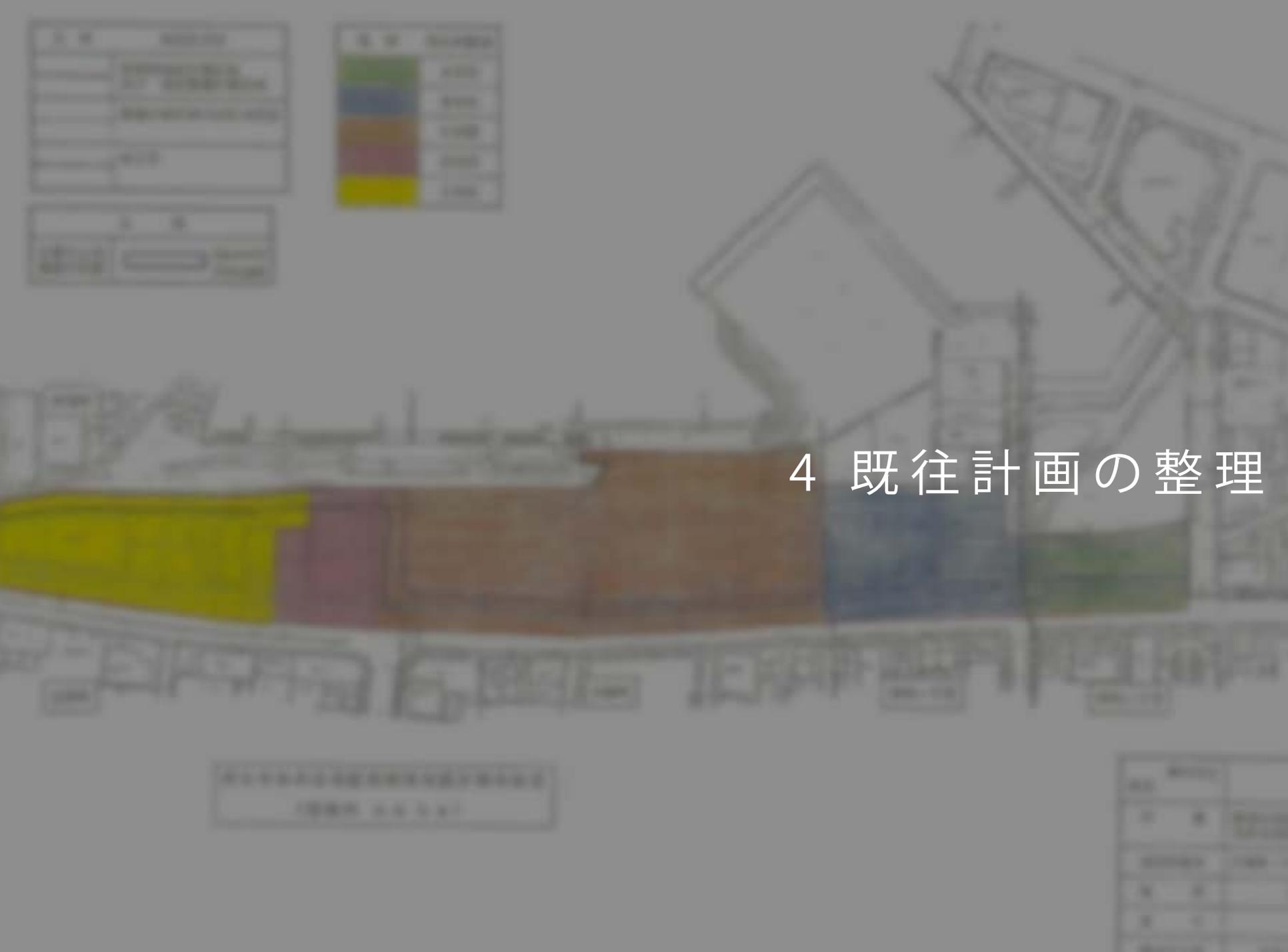


■ 日本平



■ 石垣いちご





区画	用途
1	商業施設
2	住宅
3	公園
4	道路
5	その他

色	用途
緑	公園
青	道路
茶	商業施設
紫	住宅
黄	その他

記号	説明
○	出入口
□	建物
△	公園
◇	道路

4 既往計画の整理

区画番号	用途
1	商業施設
2	住宅
3	公園
4	道路
5	その他

No.	名称	面積
1	商業施設	1000㎡
2	住宅	2000㎡
3	公園	500㎡
4	道路	1000㎡
5	その他	500㎡

1

2

3

4

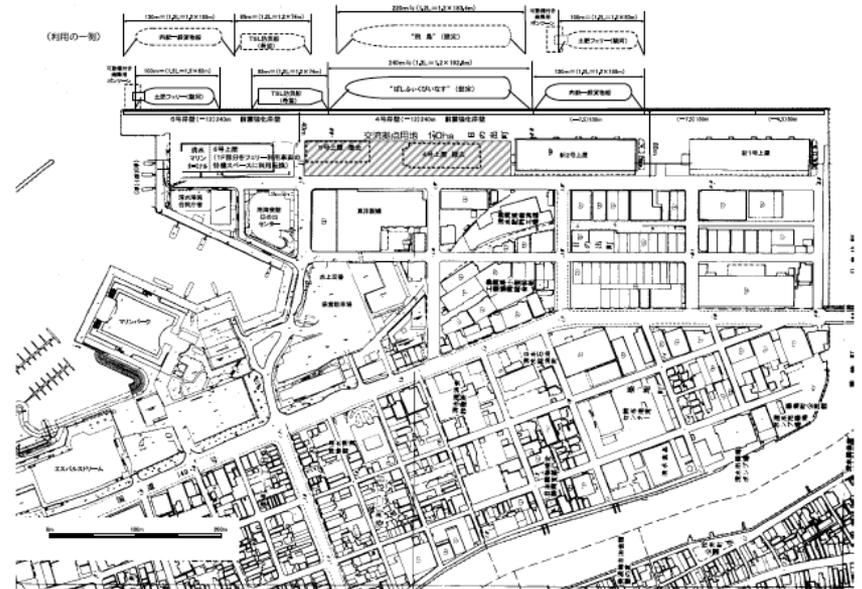
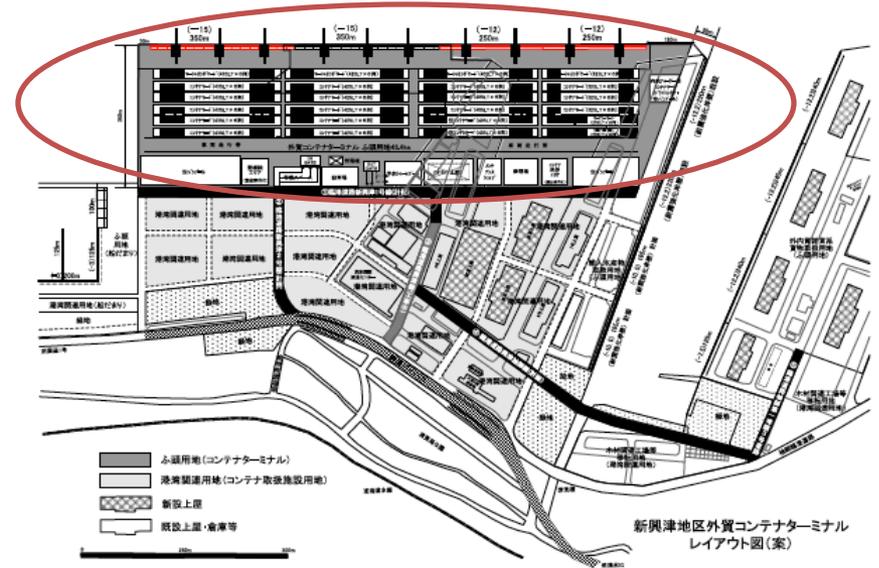
■ 概要

興津地域の埋め立て拡大

コンテナ荷役の速度向上・効率化
後背地の拡大によるコンテナ管理
力向上

荷役機能の興津への部分移転

上屋撤去と交流拠点機能整備
客船ターミナルの機能強化



既往計画の整理

5

6

1

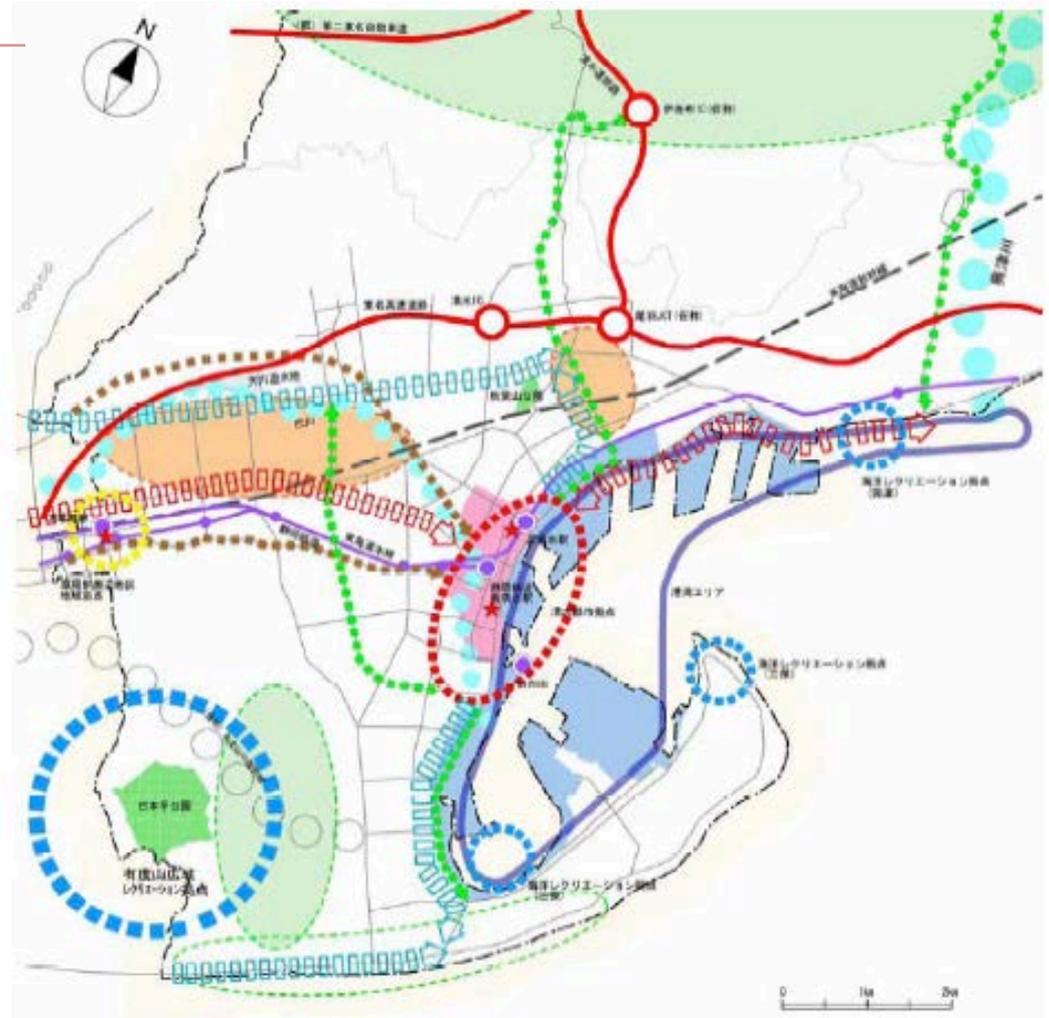
2

3

4

■ 概要

- 清水港興津地区を中心に物流機能の強化
- 清水駅東口広場と江尻埠頭の関係強化
- 港湾地区のレクリエーション機能強化
- 清水駅～日の出間の土地区画整理事業による住宅供給
- みなと色彩計画の推進
- 日本平周辺の農業基盤整備とレクリエーション機能強化



5

6

1

2

3

4

既往計画の整理

5

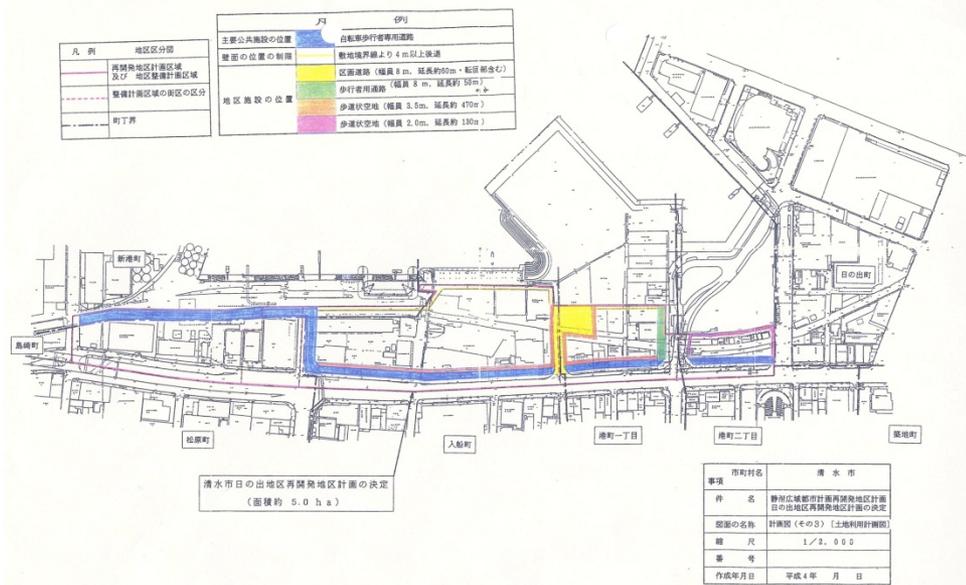
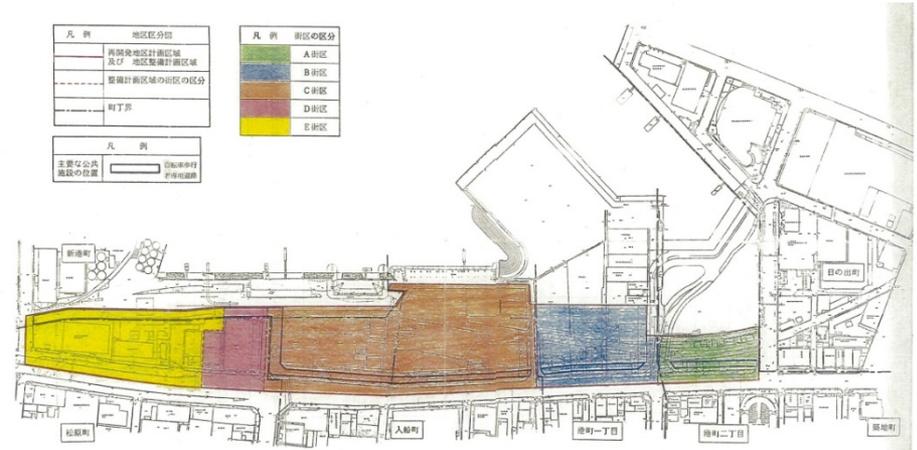
6

■ 概要

- 駐車を北側に集約(建物化し平面駐車場は作らない方針)
- 自転車道の整備
- マリンロード側の壁面線など景観統一
- 海際への人の誘導
- マリンロード西側の街区・路地との整合性配慮

■ 現況・計画の問題点

- 平面駐車場が多く造られてしまっている
- マリンロード西側の街区との整合性がない





5 日の出地区の将来に
関する考え方

職住近接シナリオ

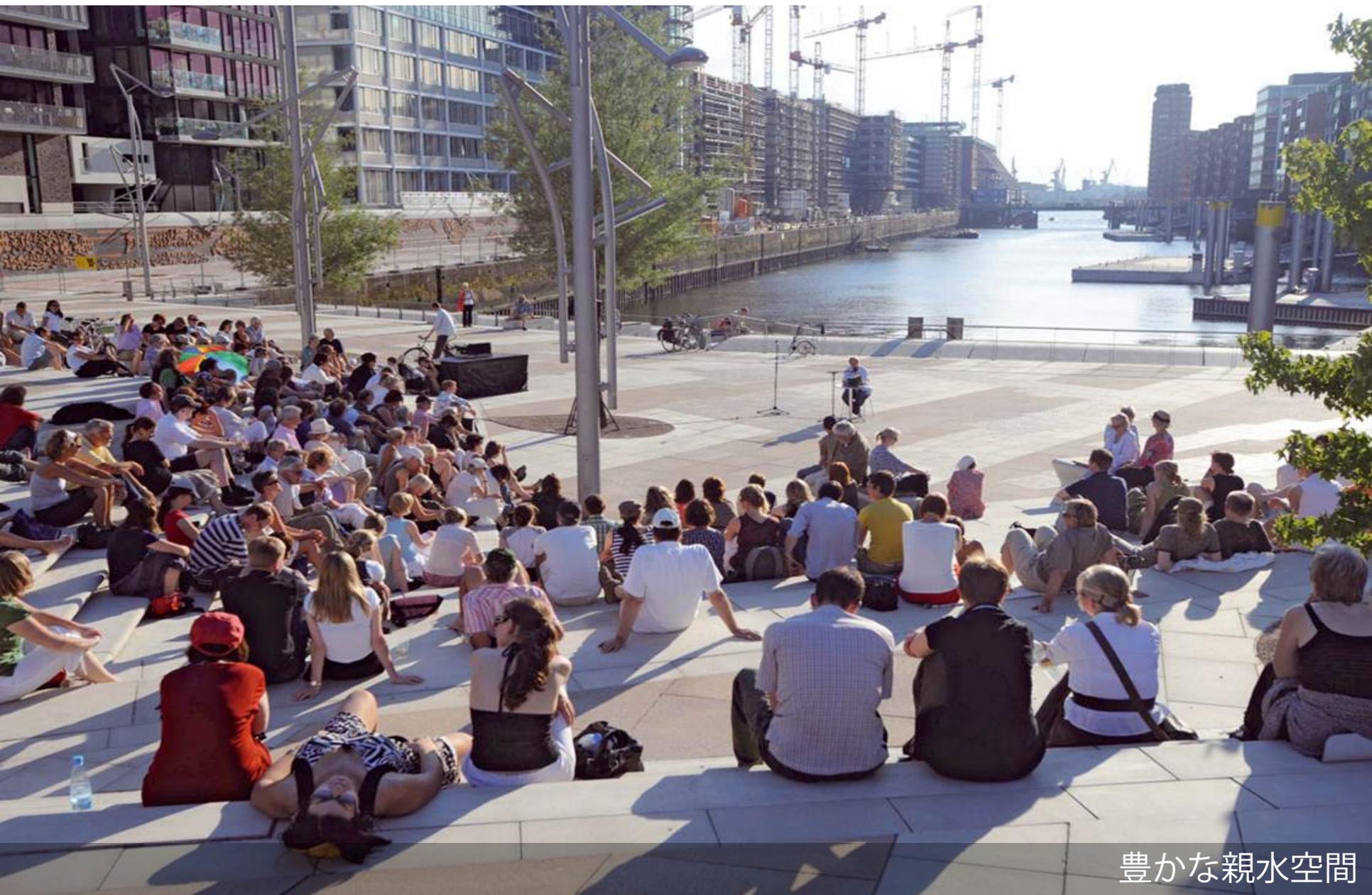
- **モビリティの確保**
交通の便として路面電車を整備し、静岡市中心部までの円滑な通勤を実現する
- **多様なアクティビティ**
臨海部にスポーツや散歩のための環境を整備する。また、マリンスポーツや、折戸湾クルーズ、フィッシングなどを満喫することの出来るまちを目指す
- **ショッピングの拠点**
大規模商業施設を配置し、清水地区以外からの来訪者も見込む

5 日の出地区の将来に関して
事例1：オランダ・アムステルダム



運河沿いの大型商業施設

5 日の出地区の将来に関して 事例2：ドイツ・ハンブルグ



豊かな親水空間

芸術・文化シナリオ

- **創作・発表の場の提供**

現在、倉庫が立ち並ぶエリアを若手クリエイターや職人などの活動や作品発表、販売の場としてリノベーションし、小型の店舗・アトリエ・工房などに転用する

- **新しい文化の発信地**

オーダーメイドや一点ものの雑貨販売の場や、芸術鑑賞、音楽鑑賞の場を整備することで、新しい文化の創造や発信の中心地としてのまちづくりを推進する

5 日の出地区の将来に関して
事例3：台湾・高雄



アーティストの活動拠点としてかつての港湾倉庫を活用

5 日の出地区の将来に関して
事例4：神奈川県・横浜



市民参加のイベントやアーティストの創作活動を推進

産業観光シナリオ

- **体験型観光の実現**
産業製品の加工過程の見学・体験や、水揚げ直後の海の幸を食す、
と言った体験型観光の取り組みを行なう
- **歴史を紐解く施設**
清水港の歴史や、清水の産業について知ることの出来る博物館などの
文化施設を配置する

5 日の出地区の将来に関して
事例5：神奈川県・川崎市



工場見学ツアーの様子

5 日の出地区の将来に関して
事例6：神奈川県・横須賀市



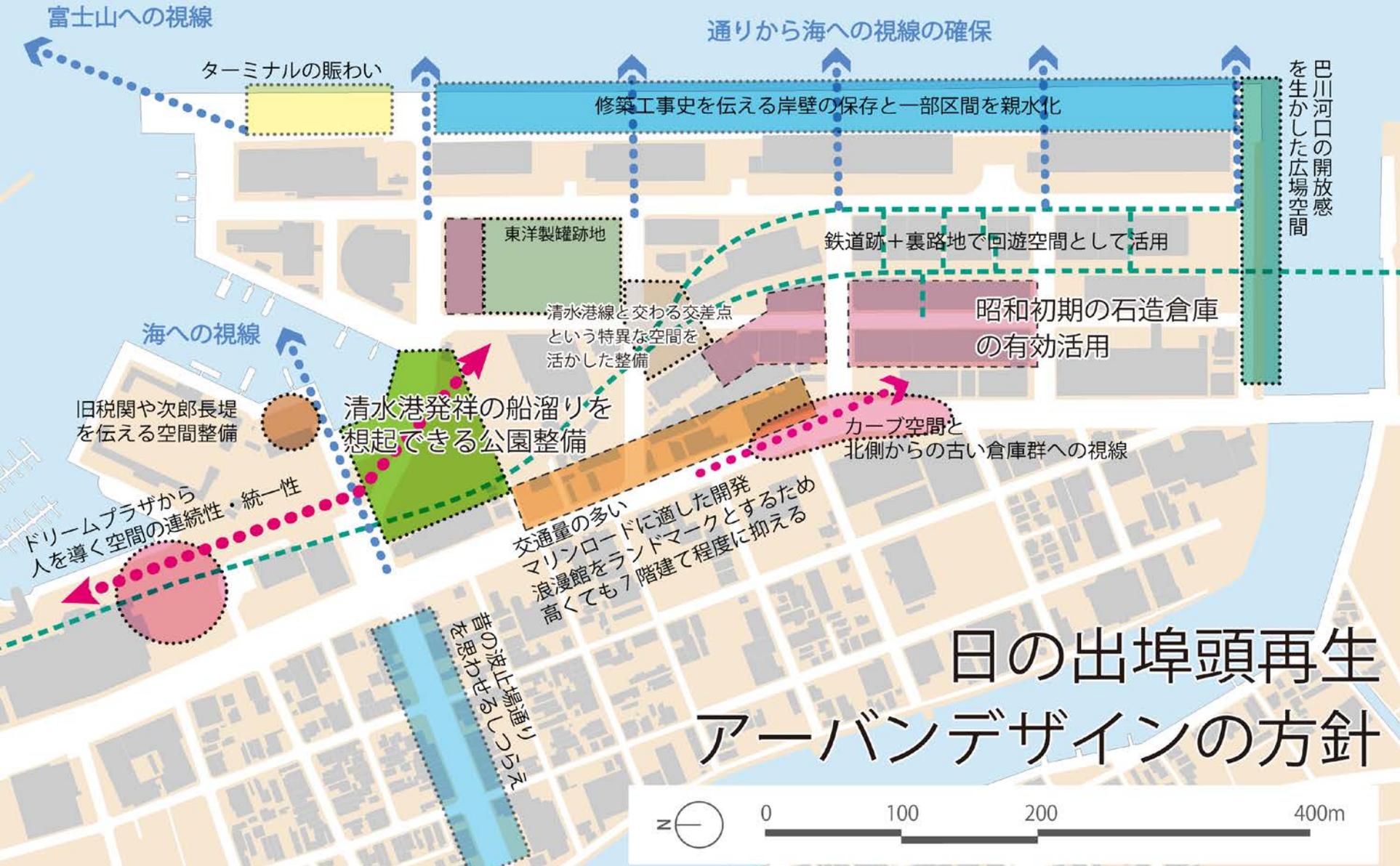
旧海軍の水道施設見学ツアーの様子

■ 行政および民間事業者・土地所有者が共有すべき目標

- 日の出地区における空間資源・歴史資源の保全・活用
- 公共空間の確保
- 海側への視界の確保
- ドリームプラザ側から人を導く空間の連続性・統一性

| 想定される土地利用転換プロセス





5 日の出地区の将来に関して 日の出地区を変える小さなアイデア

■ 学生の作業場



■ パブリックビューイング



■ 海辺でバーベキュー



■ 海に見える図書館



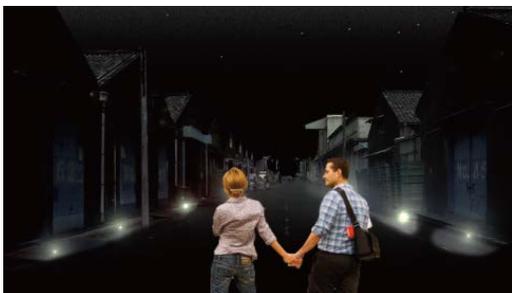
■ 趣味の隠れガレージ



■ 臨時マーケット・物産展



■ 遊歩道ライトアップ



■ 夏フェス in 清水



■ 清水港クルージング



1

2

3

4

5

日の出地区の将来に関して

6

5 日の出地区の将来に関して 日の出地区の将来イメージ案

1

2

倉庫群のリノベーション

3

空気を広い公園に

港を身近に感じることのできる親水空間

4

富士山への軸、旧波止場通り（現エスパルス通り）から港への軸を意識した空間

5

5 日の出地区の将来に関して



- ウッドデッキやボードウォークの整備
- 倉庫群を商業施設に
- 広い空間を活かした開放的な公園

6

港湾機能の移転と土地利用転換のロードマップ

1

2

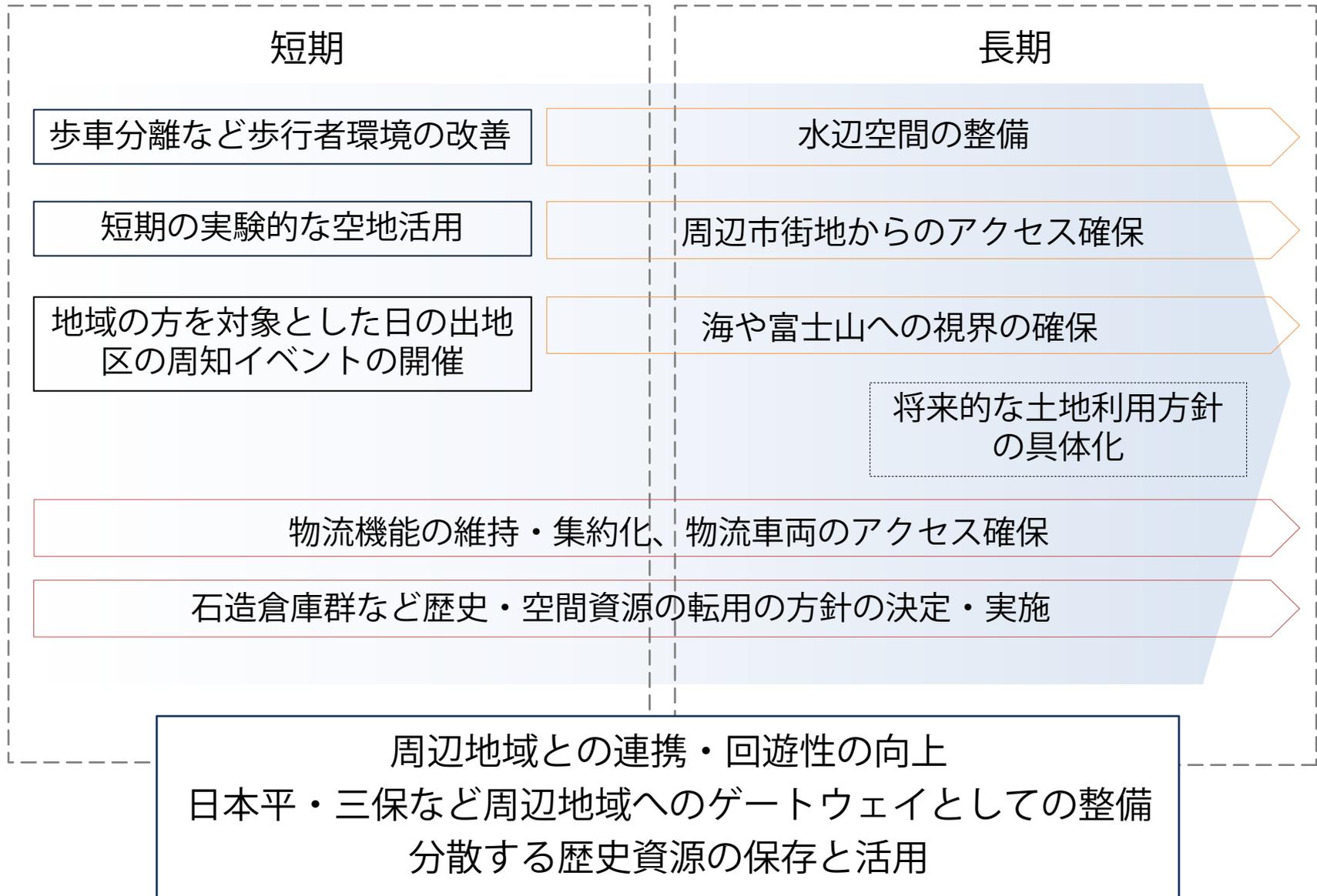
3

4

5

5 日の出地区の将来に関して

6





6 清水プロジェクト チームの取り組み

1

2

3

4

5

6

■ 講演会の概要

東京大学都市デザイン研究室 西村幸夫教授

テーマ：みなとの歴史資源

- 清水港の歴史
- 近代化、第一次・二次修築工事の概要
- 昭和初期における倉庫の急増
- 戦災の状況
- 清水港の歴史資産



大正期 船溜



日の出地区南部 左：1946年 右：2007年

の解明役 茶輸出の盛んな大正期に、現在の浜渡船付近の船溜まりで写されたと思われる写真。
曾とあるのは天野国彦自筆。手前右のたまたまに積まれた荷物は茶葉。

■ 社会実験の概要・目的

- ウォーキングツアー
- 水上ツアー
- 清水港線跡遊歩道でのパネル展示

■ これからの課題と期待されること

- 参加者からは好評を得ることができた
オープンな空間が思いの外気持よかった
普段では見られない風景が見られた
川から見ると風景が違っていて清水ではないように感じた
(ツアー参加者対象のアンケート自由回答欄より)
- イベントの事前周知の徹底
- 日の出地区の認知度の低さ
- 調査の続行
- 地域の団体（「しみず蔵倶楽部」等）との協力体制の強化



■ 来年度の方針

● 歴史・資源調査の継続

今年度の活動で調査を行った清水港周辺の形成史や歴史的資源・空間資源を整理し、その価値を定義付ける

● 日の出地区周辺の広域的調査

今年度、詳細な調査を行っていない駅前・魚河岸周辺・折戸湾・三保半島などを含めた広域的な視点から、日の出地区との関連性・連携の可能性を考える

● 関連主体へのヒアリング調査

● 地域の方々との交流

ワークショップなどを開催し、具体的なまちの未来像について考えるきっかけをつくる

● 歴史資源の活用イベントの開催

石造倉庫をはじめとした港湾地域に点在する歴史的資源を活用したイベントの開催（例：折戸湾貯木場跡のライトアップ等）



END